

くすのき



～暑さとのたたかい～

熱中症警戒アラートが連日発令されています。7月は今日・11日までに9日間も発令されています。また、暑さ指数(WBGT)は毎日31を超え、原則運動は禁止です。運動場の体育や休み時間の外遊びは、毎日制限されている状況です。

一方で、学校ではたくさん子どもたちが同じ場所で過ごします。外遊びが好きな子どもにとっては思い切り遊べないことは大きなストレスになっていることと思います。子どもたちはこの状況でも、読書をしたり、図書室で静かに過ごしたり、それぞれの場所で友だちと協力し、工夫して過ごしています。教職員も、多目的ホールを活用するなどして、安全に楽しく過ごせるよう日々努めています。

夏休みまで、あと8日。1学期の学習のまとめをしようと、子どもたちは頑張っています。安全安心に過ごせるよう、登下校の際の暑さ対策、夕立のような突然の大雨や竜巻、雷など、気象についての対策も十分にしていきたいところです。

気温(参考)	暑さ指数(WBGT)	熱中症予防運動指針	
35°C以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31°C以上35°C未満	28以上31未満	厳重警戒(激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28°C以上31°C未満	25以上28未満	警戒(積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24°C以上28°C未満	21以上25未満	注意(積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24°C未満	21未満	ほぼ安全(適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など

(公財)日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)より

暑さ対策: 日傘の活用、ネッククーラー・タオルの活用(下校前に少しでも水で冷やす) 帽子を必ず着用(「かぶりたくない」「忘れた」では自分の体は守れません) 帽子を濡らして帰る、下校前に十分水分を取る など

竜巻・雷・大雨など: 空が暗くなり始めたら急いで帰る、雷が鳴り始めたら建物の中に入る 大雨直後に水路が急にあふれることもあるので近寄らない など



1年生はアサガオ、2年生は夏野菜、3年生はハウセンカを育てて観察しています。今年の暑さで水やりが追い付かない場面もありましたが、子どもたちは一生懸命向き合っています。

今年かぎりの約束で「カ部(ブ)」が活動しています。活動場所は、老朽化して修理不能のウサギ小屋、工夫してカブトムシが外に出ないように飼育しています。

今年かぎり、というのは、かねてより大きな課題であった校内の駐車場不足を解消すべく、駐車場にするための工事が夏休みに始まるからです。職員数に対し駐車場が不足していることに加えて、来客用駐車場がないこと、来校者集中時の混雑で近隣住民にご迷惑をおかけしていることなどが、ある程度解消できると思います。植栽が美しい前庭であったことを惜しみつつ、新しい環境での利便性に期待します。

「カ部(ブ)」の活動はtetoruでご覧いただいていますように、楽しく続いています。今いるカブトムシは、担当の教員と前教頭が用意したものです。今後どのようにするかは、後日お知らせする予定です。

